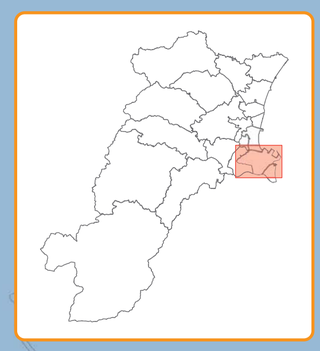
南郊地区【高茶屋・雲出地区】



たるみ児童福祉会館グラウンド
藤水出張所1.4m
新町三角公園
久居体育館22.8m
久居体育館駐車場
立成コミュニティセンター
久居団地・東町地区集会所
立成小学校23.3m
立成小学校グラウンド
小森宮の前児童遊び場
三重県立こころの医療センター駐車場
南郊公民館（高茶屋出張所）9m
高茶屋小学校19m
井戸山地区集会所
高茶屋小森山自治会集会所
南部緑地公園
高茶屋市民センター19.2m
南郊中学校18.3m
久居東中学校18.6m
久居東中学校グラウンド
小森向山苑自治会集会所
三重県工業研究所駐車場
三重県立津高等技術学校17.3m
雲出市民センター1.7m
雲出出張所1.4m
津市防災物流施設2.0m
日本板硝子(株)津事業所南グラウンド
雲出小学校1.9m
桃園情報センター
桃園小学校7.3m
桃園小学校グラウンド
木造区集会所
雲出市民館2.9m
コミュニティセンター桃園
稲葉区民会館
川原区民会館駐車場
小松区民会館
桜町区民会館
香海中学校3.2m
地家区民会館
砂原区民会館
浜浦区民会館
馬場区民会館広場
まつぼっくり作業所1.4m
香良洲歴史資料館（若桜会館）1.5m
香良洲小学校1.2m
サンデルタ香良洲1.4m
香良洲公民館1.5m
高砂区民会館

揺れやすさマップ

計測震度

	震度６弱（5.50–5.74）
	震度６弱（5.75–5.99）
	震度６強（6.00–6.24）
	震度６強（6.25–6.49）
	震度７（6.50–）

- 一時避難場所（地震災害）
- 指定避難所
- 津波警報発表時は原則開設しない指定避難所

0　0.5　1km

南海トラフ地震発生時の被害想定

津市では、南海トラフ巨大地震が発生した場合に想定される被害量を算出しています。
下表には市全域、地域別、地区別のそれぞれの被害想定結果をとりまとめています。ご家庭やお住まいの地域等における今後の防災・減災対策にご活用ください。

想定項目		南郊地区	津地域	津市全域
最大震度		震度７	震度７	震度７
液状化危険度		極めて高い	極めて高い	極めて高い
建物被害 全壊棟数	揺れ	1,848棟	14,025棟	23,949棟
	液状化	58棟	621棟	741棟
	土砂災害	1棟	33棟	177棟
	津波	821棟	6,306棟	6,934棟
	計	2,728棟	20,986棟	31,801棟
火災被害	総出火件数	5件	40件	62件
	焼失棟数	350棟	4,128棟	5,378棟
人的被害	死者数	427人	1,463人	2,118人
	負傷者数	746人	5,876人	10,720人
	重傷者数	192人	1,508人	2,620人
	要救助者数	29人	1,411人	1,430人
	避難者数	8,642人	78,338人	103,557人
ライフライン支障	上水道（断水人口）	20,453人	159,997人	279,500人
	下水道（支障人口）	4,080人	29,118人	32,895人
	電力（停電軒数）	7,869軒	57,971軒	120,308軒
	通信（不通回線数）	6,317回線	48,554回線	78,679回線
	ガス（支障戸数）	4,608戸	28,020戸	40,737戸

津波浸水時間マップ【30cm津波浸水時間】

浸水深が30cmに到達する時間

地震発生～5分
6～60分
61～75分
76～90分
91～115分
116～130分
131～145分
146～160分
161～175分
176分～

※津波の最大浸水深が **30cm** 未満の場所は着色されていません。

津波避難ビル
津波避難ビルは、津波から避難する際に、逃げ遅れた人など、どうしても遠くまで避難ができない人に少しでも安全な高い場所を確保するためあらかじめ指定した建物です。

津波避難協力ビル
津波避難協力ビルは、津波避難ビルと同様に少しでも安全な高い場所を確保するためあらかじめ指定した建物ですが、所有者や管理者が指定した日及び時間に限り避難できる建物です。

時間ごとの浸水の要因（地震発生▶約12時間）

5分	1時間	12時間
堤防等からの浸水	地盤沈下に伴う浸水	津波到達による浸水

Ｌｕｔ’ｓ（ラッツ）
津市モーターボート競走場
カヤバシステムマシナリー株式会社三重工場
くもつホテル＆コンファレンス
津市防災物流施設
雲出小学校
殿木集会所
香海中学校
まつぼっくり作業所
香良洲歴史資料館（若桜会館）
香良洲小学校
掘割ポンプ場
津市香良洲庁舎

津波避難のこころえ　少しでも遠く、高いところに逃げる。

1. 「避難は徒歩が原則」
家屋の倒壊や落下物などにより、自動車ではスムーズに避難できない可能性があります。また、渋滞や交通事故のおそれがあるので、歩いて避難しましょう。
2. 「想定にとらわれない」
想定以上の災害が起こることもあります。想定にとらわれすぎず、その時の状況を見極めることが大切です。
3. 「率先して避難する」
勇気を出して率先して避難すれば、その姿をみて周りの人も避難するようになり、多くの人の命を救うことができます。
4. 「最善を尽くす」
自分は大丈夫、ここまでくれば大丈夫ではなく、その時できる最善の行動をとりましょう。
5. 「地域での協力が大切」
お年寄りや体の不自由な方々に声をかけて、一緒に避難するなど、ご近所で助け合いましょう。
6. 「河川に近づかない」
海から離れていても、津波は河川を遡ってやってきます。避難するときは、河川から離れる方向に避難をしましょう。
7. 「逃げ遅れたら、津波避難ビルへ」
いざというときに、どうしても遠くまで避難ができない場合は、「津波避難ビル」または「津波避難協力ビル」に避難してください。

津波浸水深マップ

最大浸水深

0～50cm
50cm～1m
1m～2m
2m～5m
5m以上
平成23年度三重県津波浸水予測範囲

この地図は三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合所管の「2011 三重県共有デジタル地図（数値地形図縮図 10,000）」を使用し、調整したものである。（承認番号：三総合地第 58 号）